

平成22年度

一般会計予算討論

【自民クラブ】

賛成

合併特例債の
活用を評価

厳しい財政状況の中、「安心・安全」のために老朽化が進んだ公共施設の修繕費や、職員の危機管理意識の醸成を高めるための研修費を予算化。また市民生活に必要な合併特例債が活用できる広域ごみ処理施設等建設事業の推進費が措置された。市長が掲げた市民参加の「事業仕分け」、「タウンミーティング」の実施が予算措置されている事も評価できる。ただし合併優遇措置が終わった後を見据えて、身の丈に合った行政サービスへの移行も考慮されたい。

【日本共産党】

反対

市民サービスを
低下させるな

平成23年度4月から中学校卒業までの子ども医療費無料化に向けたシステム改修費が予算化されたことは評価する。合併時の約束であった市内循環バスが上福岡地域にも拡大されるが、前年度と同じ予算では、市民サービスの低下とも考えられるので、対策を求める。自転車駐車場使用料がふじみ野駅周辺の2箇所が有料に、上福岡駅西口駐車場は5,000円も値上げになる。教育現場の資料や図書が古いままであり、改善を。商業・工業・農業分野への支援策が不十分である。

【正翔会】

賛成

不況対策と国政・市政の変革を
反映した予算

セーフティネットを重視した予算編成であり、社会保障費等は命を守る欠かせない予算であると評価いたします。

子ども手当や生活保護費の増加により、扶助費は昨年度予算より36.5%も上回りました。

一方では、限りある財源を有効に活用する新しい公共への取り組みが求められています。

他には、選挙公約だからといって準備不足のまま事業仕分けが実施にならないよう意見を付して賛成といたします。

【公明党】

賛成

さらに前進
市民サービスの向上

引き続き厳しい社会情勢の中で、事務事業の見直し・経常経費の節減に取り組んでの予算編成となった。市税も固定資産税等で増額にはなったが、全体で約3億600万円の減となった。収税では、コンビニ収納が予想以上の徴収率となり今後期待したい。歳出では、女性特有のがん検診の継続拡充・子育て支援・教育環境の整備・市内循環バスの全域運行・事業仕分け・職員研修の充実等より良い市民サービスの提供に努めた内容と評価します。